

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 鳥居 康子
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには⑬のジオサイトがあります～ **その9** 富戸・城ヶ崎海岸北（富戸南の網干場石丁場遺跡）

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 12月定例会の概要……………【P.2】
- 一般質問（8議員が登壇）……………【P.4】
- 常任委員会だより……………【P.11】
- 特別委員会中間報告……………【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターや、
ホームページでごらんいただけます。
(12月定例会会議録は、2月中旬
発行・公開の予定です)



平成26年12月定例会

32件の議案等を審議、決定



12月定例会を12月1日から12月16日までの16日間の会期で開会しました。

■市議会12月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第16号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第3号）専決処分の報告承認について	平成26年11月21日に衆議院が解散し、12月14日に投開票が行われることに伴う選挙事務経費として、歳入歳出に2,962万8,000円を追加する専決処分を26年11月21日に行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第19号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	人勤に基づく国家公務員の給与改定に準じて、一般職の職員の給料表及び勤労手当の支給月数を改定するとともに、管理職員特別勤務手当の新設や単身赴任手当を引き上げるための改正	市長	賛成多数で可決
市議第20号	伊東市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準が、市条例に委任されたことに伴い、厚生労働省令に基づき、必要な基準を定めるために制定	市長	全会一致で可決
市議第21号	伊東市地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例	地域包括支援センターの運営及び職員の基準が、市条例に委任されたことに伴い、厚生労働省令に基づき、必要な基準を定めるために制定	市長	全会一致で可決
市議第22号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険税の被保険者間の負担の公平化と低所得者の負担軽減を図るため、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の賦課限度額等が引き上げられることに伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第23号	伊東市自転車競走実施条例の一部を改正する条例	競輪場本場の普通入場料を無料にするための改正	市長	全会一致で可決
市議第24号	伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	児童扶養手当法の一部改正に伴う引用条項ずれを改めるための改正	市長	全会一致で可決
市議第25号	伊東市立養護老人ホーム及び大池デイサービスセンターの指定管理者の指定について	社会福祉法人十字の園を指定 指定の期間：平成27年4月1日～平成37年3月31日	市長	全会一致で可決
市議第26号	伊東市老人憩の家城ヶ崎荘及び城ヶ崎デイサービスセンターの指定管理者の指定について	社会福祉法人城ヶ崎いこいの里を指定 指定の期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日	市長	全会一致で可決
市議第27号	市道の路線認定について	市が管理する道路の構造及び技術的基準に当てはまる道路、法定外公共物で生活道路として常時利用されている道路及び橋梁など3路線261.4mの市道の路線認定	市長	全会一致で可決
市議第28号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第4号）	人事異動等に伴う人件費の整理を実施するとともに、給与条例の改正に基づく給料表の改定や勤労手当の引き上げ分の計上、さらに不足が見込まれる時間外勤務手当等の増額（以下市議第36号まで同様） 歳入歳出に1億371万6,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第29号	平成26年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出に986万3,000円の減額	市長	賛成多数で可決
市議第30号	平成26年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出増減なし	市長	賛成多数で可決
市議第31号	平成26年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出に439万9,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第32号	平成26年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出に16万6,000円の減額	市長	賛成多数で可決
市議第33号	平成26年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出に688万5,000円の減額	市長	賛成多数で可決
市議第34号	平成26年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出に89万2,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第35号	平成26年度伊東市病院事業会計補正予算（第1号）	収益的支出に267万7,000円の増額	市長	賛成多数で可決
市議第36号	平成26年度伊東市水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入は18万円、収益的支出は176万6,000円の増額、資本的支出は43万6,000円の増額	市長 市長	賛成多数で可決
市議第37号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第5号）	補正する事業に見合った国県支出金の増額のほか、地方交付税や臨時財政対策債、財政調整基金からの繰入金などを財源として、障害者自立支援給付費、生活保護扶助費、広野保育園隣接地購入経費、水痘ワクチン等の予防接種委託料などの追加、平成27年度の教科書改訂に向けた経費の計上などのほか、各特別会計への繰入金の追加など、歳入歳出に6億7,274万1,000円の追加	市長 市長	全会一致で可決
市議第38号	平成26年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第3号）	車券の売り上げが当初の見込みを上回ったことから、歳入における車券売上金の増額、歳出における場外車券売上手数料や勝者投票払戻金などの増額など、歳入歳出に13億円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第39号	平成26年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出における居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費等の増額など、歳入における給付費の増額に見合う国県支出金や一般会計繰入金金の増額など、歳入歳出に6億7,750万6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第40号	平成26年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	歳出における後期高齢者医療療養給付費負担金や後期高齢者医療保険料負担金の増額など、歳入における前年度繰越金、一般会計繰入金金の増額など、歳入歳出に7,163万6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第41号	伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例	産科医療補償制度の掛金が3万円から1万6,000円に引き下げられるが、出産育児一時金の総額42万円を維持するため、出産育児一時金の支給基本額を40万4,000円に引き上げることに伴う改正	市長	全会一致で可決
市選第2号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	稲葉衛氏（八幡野）再任	市長	全会一致で選任に同意
発議第17号	伊東市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	伊東市議会議員の定数を22人から20人へ、2人削減するための条例改正	議員15名	賛成多数で可決
発議第18号	前正副議長に感謝状の贈呈について	西島彰前議長、佐々木清前副議長の在職中の功績に対する感謝状の贈呈	議員7名	全会一致で可決
発議第19号	地域の中小企業振興策を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、衆議院事務総長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第20号	米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院事務総長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第21号	農業委員会制度・組織改革への配慮を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院事務総長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発選第8号	選挙管理委員会委員の選挙について	任期満了（平成26年12月25日）に伴う選挙（指名推選） 佐藤實氏（宇佐美）、中村誠一氏（猪戸）、菊間徹夫氏（竹の内）、肥田祐久氏（八幡野）が当選	議長	—
発選第9号	選挙管理委員会委員の補充員の選挙について	任期満了（平成26年12月25日）に伴う選挙（指名推選） 後藤武久氏（萩）、森田正見氏（湯川）、杉本洋子氏（宇佐美）、蠣原盛幸氏（八幡野）が当選（補充順位順）	議長	—

本会議で
行った討論
(概要)

■伊東市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例及びこれに係る補正予算（市議第28号）市議第三六号）

《反対》森篤議員

地方自治体の給与は、国及び民間等の事情を考慮して定めなければならないと地方公務員法に規定されており、人事院勧告を取り入れることによって、国の事情は考慮されるものの、答弁から、本市の事情は、実質的に考慮されていないものと判断する。

数値的なデータを伴った本市民間の事情が考慮されていないので反対する。

《反対》杉本一彦議員

日本経済の先行きや地方財政の再生が難局を迎えるとともに、中央と地方との格差が広がっている状況下、地方自治体の職員の給与を、人事院勧告をもとに改定していくことの賛否や、本市の職員が将来に向けどうあ

るべきかの議論を深めるべきと考えるが、この短い審議時間では、到底市民の理解を得ることはできず、現段階において、賛成することはできない。

《賛成》重岡秀子議員

本来、賃金は労使交渉によって決定されるものだが、ストライキ権もない公務員にとつて人勧は重視すべきであり、しかも一五年ぶりのベースアップである。

景気回復には賃上げが一つの大きな鍵であり、公務員賃金は民間の春闘にも大きな影響を与える。

給与改定がされる職員の皆さんには、産業振興にさるなる力を注いでいただくことをお願いし、賛成する。

■伊東市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

《反対》輝21

民主主義は、より多くの人の意見を聞き、その意見に真摯に答えてこそ、その目標を獲得できる。

さらに、夜間議会、土・日曜日の議会の開催を視野

※会派構成議員～稲葉正仁議員、稲葉富士憲議員、◎三枝誠次議員（議席順、◎＝会派代表者）

に入れ、議員定数をふやしてこそ民主的な議会となる。

市税の減収等が定数削減の要因の一つであれば、定数減ではなく、議員報酬を削減すればよいことであり、より多くの意見を集約するためにも、本案に反対する。

《反対》重岡秀子議員

人口減の問題や地方分権による福祉事業の地方自治体への移譲など、市民生活

議員提出議案

伊東市議会議員の定数を定める
条例の一部を改正する条例

本条例案は、伊東市議会議員の定数を二二人から二〇人へと、二人削減するための条例改正案で、一五人の議員から提出されました。

本会議における大綱質疑の後、審査を付託された常任総務委員会においては、質疑の後、二人の委員から反対の討論がされ、採決の結果、賛成多数で可決すべしと決定しました。

本会議において、委員会審査報告、少数意見報告を受けた後、討論、採決の結果、本案は委員会の決定のとおり、可決することに賛成多数で決定しました。

※本会議における討論は、前記のとおり



常任総務委員会における審査の様子
(平成26年12月9日)

にとって議会の役割はますます大きくなってきている。また、定数削減は、経費削減が目的ではないといった答弁では、提案理由も不明瞭であり、議会の機能は議員個々の精励によって保つということも疑問である。まず議会の質を高めることこそが、市民の負託に応えることと考え、反対する。

一 般 質 問

8 議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

本市の空き家、空き地、
廃屋等の適正管理対策について



正風改革クラブ
西島 彰 議員

少子高齢化による人口減少が加速する中、防災・防犯・防火・環境・住宅事情・地域コミュニティなどに及ぼす諸課題をあぶり出し、生活の安全・安心を保つための施策を推進させることが必要である。

そのためには、市民生活の足元を知ることが基本ではないだろうか。

地域住民の住居状況や居住環境、家族構成などの再確認と調査が必要であると考え。

郊外には荒れ果てた空き地があり、市街地には多数の空き家がある。さらに、観光地として不似合いな廃屋など、そのままにしておけない課題が山積している

状況である。

そこで、空き家等の適正管理に関する条例は制定しているか、制定していなければ、制定する考えはあるか伺う。

また、伊東市廃屋解体・撤去補助金交付要綱における補助金上限額三〇万円について、引き上げる考えはあるか伺う。

空き家の適正管理に関する条例は定めておらず、また、撤去等に係る補助金については、公平性を確保し、将来的な検討課題としたい

市長

本市においては、条例を制定するより撤去費用を助成することのほうが、実効性が高いと判断し、平成二三年度から補助制度を運用しているところであり、空き家の適正管理に関する条例は定めていない。

また、伊東市廃屋解体・撤去補助金の交付実績については、平成二三年度が一件、二四年度が三件、二五年度は五件と徐々にふえて

きており、今年度も現時点で二件の申請があることから、三〇万円の補助金額で一定の効果が上がっているものと考えている。

補助金額の引き上げについては、今後、利用件数の増加を図る一方で、誰もが納得できるような公平性の確保など、慎重な判断を必要があることから、当面は現在の補助金額のもと、将来的な検討課題としていきたいと考えている。

『その他の質問』

■空き家、空き地、廃屋等の適正管理対策について

ほか四点

■入湯税に係る徴収及び使途を初め、その取り扱いについて



廢 屋

男女共同参画の観点から、本市職員における女性の登用について



輝21
稲葉富士憲 議員

本市において、かねてより女性管理職が少ないとの指摘を受けてきた。他市や一般企業においても同様の状況であり、一般的に管理職に占める男性の優位は、当たり前のこととして長く続いてきたと言える。

政府は、「二〇二〇年に指導的地位に占める女性の割合三〇％」とする目標を掲げ、国や地方公共団体、従業員が三〇〇人を超える企業に女性登用の数値目標や取り組み内容を盛り込んだ行動計画の策定と公表を義務づけることで、女性の活躍の推進を図る「女性の活躍推進法案」をさきの臨時国会に提出した。

衆議院の解散により廃案

となったものの、このような国の動向などを踏まえ、本市において女性管理職が少ない理由及び結婚や出産・育児が昇進に影響を及ぼさない配慮について伺う。

出産や育児休業等の取得がマイナスの影響とならないよう配慮している

市長

課長職以上の管理職の登用は、適材適所を基本に実施しており、女性管理職が少ない理由は、管理職としての能力や資質を満たす女性職員が少なかったことが主な要因であると考えているが、近年、意識改革や自己研鑽が進んでいることから、平成二六年四月一日現在、係長相当職以上の役職者に占める女性の割合は二四・五％と、一〇年前に比較して九・二ポイント増加している。

また、次世代育成支援対策に関する伊東市特定事業主行動計画を策定する中、出産や育児をしやすい職場環境の整備を図っており、

正規職員が育児休業等を取得する場合、代替として臨時職員を雇用するなど、職場の受入体制の確保に努めている。昇進等人事面においても、出産や育児休業等の取得がマイナスの影響とならないよう配慮している。

『その他の質問』

■災害が発生し、あるいは発生するおそれがある場合の避難情報について

・避難勧告等の判断基準
・避難所の設置等、災害に備えた事前準備

・避難所の収容人員

■城ヶ崎海岸のポイ捨て防止策について

・現在の対策
・ごみの定期的な収集
・啓発やパトロールの強化



「第2次伊東市男女共同参画あすをかなでるハイモニープラン」には、女性職員の管理職への登用の推進が掲げられている

交流人口の増加に向けた、今後の観光戦略について伺う



伊東元気の会
杉本一彦 議員

年々、市内の活力が衰退し、経済状況が非常に悪化しているように感じている。それは、市民生活そのものにも直接影響しており、先行きの見えない将来の市民生活に不安を感じている市民も多くなってきたのではないかな。

このような中、市内経済の活性化が求められているが、本市の基幹産業は、何と言っても観光であり、これまで市長の描く観光戦略等についていろいろ質問してきたが、今後の観光戦略について、どのように考えているのか伺いたいと思う。

そこで、交流人口の増加に向け、さらなる観光客誘

客対策を講じていくものと考え、市長の考える今後の観光戦略について伺う。

最高のおもてなし力を持った観光地を目指し交流人口の増加を図る

市長

今後の観光戦略については、「観光都市から感動都市へ」を掲げ、来訪者に感動を与える「最高のおもてなし力」を持った観光地を目指していく。

具体的には、市民の皆様がみずから情報収集し、本市ならではの魅力を発信していただく取り組みや、小学生を対象とした郷土愛を育むための観光講座、高校生を対象としたイベントスタッフやおもてなし特派員など、市民の皆様と協働する事業を構築する中で、交流人口の増加を図っていききたいと考えている。

『その他の質問』

■市内経済の活性化に向け
・現在の市内経済の状況に係る見解

・伊東駅前の再開発の状況

及び今後の対策

・企業誘致の状況及び今後の方策

・廃屋に係る諸問題の解決に向けた調査、研究

・若者の減少防止策の一環として、空き家等の活用に係る調査、研究

・デマンドタクシーに係る調査、研究

■老朽化が進む東松原町の市庁舎別館に係る管理及び館内の施設に係る対応について

■市民病院における検体検査管理加算の返還に関し

・原因等に係る検証結果

・返還額及び患者負担額並びにその対応

・市民への説明や患者への周知など今後の対応



経済の活性化が求められる本市

津波対策の一環として、公共施設の出入り口への海拔表示に係る見解を伺う



正風改革クラブ
佐々木 清 議員

東日本大震災発生から二カ月後に現地を訪れ、被害の大きさを肌で感じ、地震の二次的被害である津波への対応策の必要性を強く感じている。

本市で行われた津波対応策として、危機対策課によるハザードマップの作成、郵便局とタイアップ企画した郵便ポストへの海拔表示の掲示、家屋調査士による海拔調査などがあり、地元紙にも取り上げられている。三島信用金庫では、玄関口等に海拔表示シートが掲示されている。このように日常生活で利用する場所に海拔表示されていることにより「いざ」というときに備えることができると考える。

る。

以前も「伊東市児童・身体障害者福祉センターはばたき」における浸水被害の危険性を一般質問で取り上げ、海拔表示について提案したが、実現に至っていない。

電柱への海拔表示の取りつけよりも、施設のガラスドア等へのシールによる海拔表示は、コスト面からも現実的かと思われるため、公共施設の出入り口等に海拔表示をしてはどうか、見解を伺う。

市有施設のうち、海拔二〇m以下の施設から順次海拔を計測し、表示していく

市長

公共施設等の海拔表示については、現在、電柱等へ四二〇力所、郵便ポストへ一三一力所の設置を完了しており、津波への注意喚起を行っている。

今後、市有施設のうち、海拔二〇m以下の施設から順次海拔を計測し、表示していく。

『その他の質問』

■海の花火大会を初めとする観光イベントの見直しについて三点伺う

■来遊客の高齢化を見据え、伊東線及び伊豆急線に係る関係機関への要望に関し三点伺う

■人口減少対策として、国が推進する成長戦略に位置づけられる医療・介護分野におけるスタッフ養成事業や雇用が見込まれる施設整備について考えを伺う。また、介護サービス事業者に対する指導監査における指導内容等について伺う

■本市の教育行政における今後の展望について三点伺う



海拔表示（三島信用金庫）

観光立市として、第一次産業を活用した体験型の施策について伺う



輝21
稲葉正仁 議員

国が新たな政策として、地方創生を掲げ、推進している中、本市としてはどのような施策を進めているのか伺う。

特に、観光立市を標榜している本市において、今後、活性化をしていくためには、観光と第一次産業を活用した体験型の施策の推進を図ることは非常に重要であるとの視点から、市長の考えを伺う。

次世代を担う子供たちへの体験事業等の実施や、健康や生きがいづくり、農業体験の場としての市民農園事業への支援等を行うとともに、今後は伊豆半島ジオパークの推進や内陸フロンテ

ニアの取り組みを核として第六次産業化による農業・水産業の活性化や、農水商工連携の取り組みを推進していく

市長

第一次産業を活用した体験型の施策については、次世代を担う子供たちを対象として、食料の大切さや農業・水産業への理解を深め、身近に感じてもらうため、農業体験事業や磯あそび体験事業等の実施に努めている。

さらに、市民を対象に、健康や生きがいづくり、農業体験の場として、NPO法人が運営している、市民農園事業に対しても支援をしている。

今後については、沿岸部の防災・減災、にぎわいづくりを創出する内陸フロンティア（「ふじのくに防災減災・地域成長モデル」として静岡県が取り組んでいる事業）の取り組みを推進していくために、内陸フロンティア推進区域の指定を

受け、いとう漁協、観光・商工団体、東海大学海洋学部、行政などで構成する「伊豆・いとう地魚王国推進協議会」において、地域資源を有効に活用し、第一次産業と連携した体験・滞在型の取り組みを産学官の連携で推進していく。

また、国が推進する地方創生については、近々、具体的な内容が示されることとなるので、これらを受けた上で、伊豆半島ジオパークの推進を図ることはもとより、内陸フロンティアの取り組みを核として、その施策を積極的に活用し、第六次産業化による農業・水産業の活性化や、農水商工連携の取り組みを推進していく。



農業体験の様子

災害時における避難場所及び避難所の指定及び設備について並びに防災シエルターの設置について



正風改革クラブ
浜田修一郎 議員

本市の災害対策について、以下三点伺う。

一 近年、台風及び集中豪雨による土砂災害が頻発していることに鑑み、本市の災害時に指定している広域避難場所二〇カ所、避難所六三カ所について、安全性が確保されているか検証する必要があると考えるが、いかがか。

二 避難所等への耐震性防火水槽の設置や簡易トイレ、浄水器等の設備が必要であると考え、いかがか。

三 伊豆東部火山群火山災害対策計画を踏まえ、市民等の安全を守るため、主要景勝地に防災シエル

ターを設置すべきと考え、いかがか。

一 災害の種別ごとに施設等の安全性を検証し、避難所等の指定をしている二 避難所等の配置を考慮し、増設を検討していく三 観測体制を充実させ、市民等の安全を確保する

市長

広域避難場所については、地震発生時における安全性に配慮して緊急避難場所として指定しており、避難所については、災害の種別ごとのさまざまな危険に対し、その種別ごとに施設の安全性を検証して避難所の選定をしている。

耐震性防火水槽については、広域避難場所に八カ所、避難所に一七カ所設置しており、避難所等の配置を考慮しながら増設を検討する。簡易トイレ、簡易浄水器等については、市内五カ所の防災コミュニティセンターに配備しており、断水時の水不足を想定し、簡易トイレを水の必要のない使い



耐震性防火水槽
(タンク据えつけ現場)

捨てトイレへと切りかえを進めている。また、飲料水については、給水車等による応急給水を実施していく。伊豆東部火山群火山災害対策計画では、観測体制の充実により噴火の前兆現象を観測できると考えており、噴火の被害が想定される場合には、危険区域外に避難することを基本に計画策定しているため、現状、噴火想定区域内への防災シェルター設置は考えていない。

『その他の質問』

■小・中学校、幼稚園、保育園、市民体育センター
その他の公共施設の老朽化による修繕要望に對し、どのように対応しているか伺う



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

ペットボトルの分別収集に関する目的と状況及び廃棄物の分別収集に関する今後の基本的な考えを伺う

現在、十足、浮山、富士見町などをモデル地区としてペットボトルの分別収集が実施されているが、モデル地区における収集目的と、現在までの実施状況及び検証結果について伺う。

また、平成二三年度に策定された伊東市ごみ処理基本計画によると、平成二七年度からペットボトルのステーション回収を開始するとしている。

計画どおりにペットボトルのステーション回収を開始し、効果を上げるためには、市民との協働が不可欠であり、回収回数や実施方法、回収の意義などの周知が重要であると考えるが、

今後の計画及び推進上の課題について伺う。

収集等の検証や排出状態等を推計するモデル地区での回収は順調、また、推進上の課題は、廃棄物の排出量等に応じた収集体制の整備

市長

ペットボトルの分別収集に当たり、モデル地区による実施目的については、ごみステーションでの集積や、じんかい車での収集、収集後のペットボトルの圧縮こん包処理などの各検証や、市民からのペットボトルの排出状態や排出量を推計するためであり、一部の地域で、今年の七月から週一回の収集を開始している。集積用のネットをごみステーションに配備したこと、暴風等でペットボトルが散乱することなく、じんかい車による収集も順調に回収できている。

今後の計画としては、現在実施しているモデル地区におけるペットボトルの回収量がふえるよう、モデル



環境美化センターリサイクル棟
(ペットボトル圧縮処理)

地区の方へ協力を呼びかけていくとともに、市収集全域で廃ペットボトルに加え、廃プラスチック類のステーション収集も、早期に開始できるよう検討している。

また、推進上の課題については、市民生活への影響を考慮するとともに、廃棄物の排出量等に応じた収集体制の整備を進めていかなければならないと考えている。

『その他の質問』

■ペットボトル等の拠点回収の状況と、分別収集を拡大する目的

■学校現場への支援策

- ・就学援助制度における実務軽減のための改善策
- ・学校司書の計画的な配置
- ・養護教諭の複数配置等



森 篤 議員
(会派に所属していない)

消防救急広域化に係る協議等の状況及び一部事務組合規約に対するパブリックコメントの実施について

駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の協議状況について、現時点で何が決定しているのか主な事項についてその概要を伺う。

また、今後の消防救急広域化までのスケジュールについてどのようになっているか伺う。

さらに、消防救急広域化すなわち、伊東市消防の消滅は、伊東市民にとって極めて大事なことであることから、広域消防運営計画及び広域化に係る一部事務組合規約に対するパブリックコメントの実施について伺う。

広域消防運営計画の取りまとめや規約の審議を進めつつ、平成二八年度当初の広域化運用開始を目指しているところであり、パブリックコメントは、協議会で検討した上で実施したい

市長

消防救急広域化協議会については、本年度二回の協議会を開催しており、主な項目として、新たな消防本部の位置や名称、職員の勤務体制や管轄区域・出動範囲などを含めた組織体制、人員配置や採用計画、組合議会や委員会、職員の処遇や給与体系、今後の消防施設等の整備計画、財政計画や各市町の経費の負担等、大変多くの課題に一定の方向性を示した「駿東伊豆地区広域消防運営計画」を取りまとめるとともに、一部事務組合規約についても審議を進めてきた。

これまでの協議の中で調整が図られたものについて、協議会事務局で整理を行い、国や県に対して事前確認を

依頼しているところであるとの報告を受けている。

今後、これらの確認作業を経て協議会を開催する中で、各市町の今年度末の議会に一部事務組合設立に係る議案を上げし、平成二八年度当初の広域化運用開始を目指していきたい。

また、パブリックコメントの実施については、関係市町との調整等が必要となってくることから、協議会で検討した上で実施していきたいと考えている。

『その他の質問』

■人口減少問題への対処

■江戸城石丁場遺跡の国指定に係る進捗状況

■緊急雇用創出事業における会計検査院の指摘の内容及び委託事業に係る業務完了の検査のあり方



伊東市消防

市議会では、市民の皆様にも市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

伊東市議会 ホームページのご案内

- ◎正副議長のごあいさつ
- ◎市議会の仕組み
- ◎市議会の構成
- ◎議員名簿
- ◎歴代議長・副議長一覧
- ◎委員会委員一覧
- ◎市政の概要（全編版・抜粋版）
- ◎定例会・臨時会
- ◎議会閉会中の活動状況
- ◎議長・副議長日程表
- ◎行政視察
- ◎いとう市議会だより
- ◎市議会の傍聴を！
- ◎請願・陳情、決議・意見書とは？
- ◎市議会図書室のご利用案内
- ◎市議会の情報公開請求
- ◎伊東市議会会議録検索システム



伊東市議会

検索

閉会中の 議会活動

平成26年

※平成26年9月定例会閉会后、平成26年12月定例会開会まで

- 10月 9日 議会報編集委員会
- 21日～23日 常任福祉文教委員会行政視察
- 11月 6日～ 7日 常任総務委員会行政視察
- 10日 常任福祉文教委員会協議会
- 11日～13日 常任観光建設委員会行政視察
- 18日 議会改革特別委員会
- 25日 議会運営委員会

議 場 見 学

池小学校（10月23日）と大池小学校（11月7日）の3年生が、議場見学に訪れました。



～大池小学校のみなさんからいただいた寄せ書きです～



常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、2月中旬発行予定の12月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問

国民健康保険税の賦課限度額の引き上げに関し、条例改正の趣旨を伺う。

答

地方税法施行令の改正に伴う条例改正であり、賦課限度額を引き上げることで、被保険者間の負担の公平化と低所得者の負担軽減を図るための改正であるが、今回は国において、医療分については改正されなかったことから、後期高齢者支援金分と介護納付金分に限り改正する。

問

環境美化センター管理費における光熱水費の増加理由を伺う。

答

電気料金の値上げのほか、環境美化センターではごみを受け入れながら更新改良整備を行っており、ごみピットの改修に際し、2 炉運転を余儀なくされたことから、使用電力量が増加したことも要因である。



環境美化センター

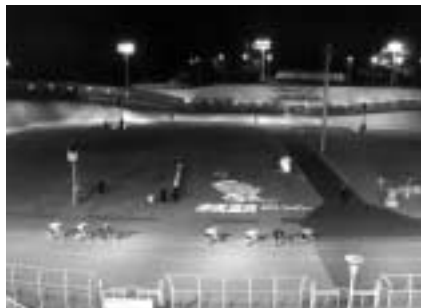
観光建設委員会

問

伊東市自転車競走実施条例の一部改正の内容及び目的を伺う。

答

自転車競技法の改正により、競輪場の入場料の無料化が可能となったことから、より開かれた競輪場を目指し、既存ファンへのサービス向上や新規ファンの獲得を図るため、伊東温泉競輪場の普通入場料を無料とする。



伊東温泉競輪場
(平成26年12月11日伊豆新聞掲載)

問

商店街共同施設設置補助事業の施工内容及び補助率を伺う。

答

今回の補助対象事業は、伊東商業協同組合がショッピングプラザ「デュオ」において実施する防犯カメラの設置や照明のLED化、エスカレーター及び自動ドアの低速度化工事に対し行うもので、総事業費から国の負担分（総事業費の3分の2）を差し引いた額に30%を乗じた額を市が補助する。

福祉文教委員会

問

地域包括支援センターは、適切、公正かつ中立な運営である必要がある。

各施設において運営されているセンターを独立運営とすることは考えているか。

答

センター自体は支障なく運営されており、新設するには費用面などの課題が多いが、囲い込みの問題等、さまざまな社会的問題に鑑み、今後検討をしていく。



中央地域包括支援センター
(市役所高齢者福祉課)

問

広野保育園に隣接する購入予定地を保育園施設の代替地として利用する考えはないか伺う。

答

当該地は園児送迎用駐車場として整備をしていく。

市内全域で施設等の適正配置を視野に入れ、園舎新設についても検討していく。

特別委員会 中間報告



議会改革特別委員会

通年議会制の導入及び反問権の付与については必要ないと判断した

十一月一八日委員会

一 通年議会制の導入

議会の主導性と事務手続について、二元代表制のもと、一層議会の主導性を發揮できるようにするが、会議の開催に伴う調整等、現行の議会開催と同様な手順を要する。

市長の専決処分について、理論的にはなくなり、議会活動の充実につながるが、緊急案件等に係る専決処分はなくならないと考えられる。

会議開催回数について、議案の提案機会がふえ、政策形成機能の充実につながるが、会議の開催に伴う調整等、現行の議会開催と同様な手順を要する。さらに、現行でも、会議日数は、議

会が決定できること、また、所管事務調査は、年間を通じて必要に応じ実施している。

以上の協議の結果を踏まえ、通年議会制を導入する必要があるとすることを諮り、異議なく了承された。

二 反問権の付与

反問権について、議員が市長に質問等を行う際、当該案件に関して市長が議員に質問あるいは反論を行うことができる旨定義した。

なお、議員の質問等の趣旨等が不明確な場合に、議長長の裁量のもとで市長がその趣旨等を簡便に確認すること、議員の質問が市長の見解を問う内容である場合自己の主張を含めて見解を述べることは、反問権とはみなさないとする。

現状、右記に定義する反問権は認められておらず、後段の部分は、議長長の裁量のもとで行われており、反

問権以外の事項について、改めて詳細を規定する必要はないと考えられる。

また、議会の活性化については、議員がよく質問等をするをもつて図られるものと考えられる。

なお、市長の質問権あるいは反論権については、議会における議員の質問等とは全く別の制度として検討されなければならず、現時点では、こうした議論の必要性はないと思われる。

以上の協議の結果を踏まえ、反問権を付与する必要があるとすることを諮り、異議なく了承された。

3月定例会の予定

2月20日(金)開会

※日程等は、2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。

議会を傍聴してみませんか？

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょうか。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができ、ますので、希望される方は、議会事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。



傍聴席から見た議場の様子（感謝状の贈呈）

編集後記

真新しいカレンダーをかけるたびに、今年こそは初志貫徹と思いつつ、はや一月が経過してしまいました。ことし九月には、定数二〇人になって初の市議会議員選挙が予定されています。市民の皆様にも市議会をもっと身近に感じ、関心を持っていただけるよう、議会報にも一層工夫していきたいと思えます。

（委員長）

議会報編集委員会

委員長 稲葉富士憲
副委員長 長沢 正
委員 浜田修一郎
" 四宮和彦
" 杉本一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六